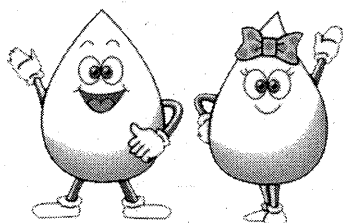


平成23年度当初予算（予第2号）案について

～予算説明資料～



平成23年2月
阪神水道企業団

= 目 次 =

I. 予算編成に当たって

II. 予算編成の基本方針及び主要施策

III. 予算の大要

IV. 予算の明細

V. 建設改良費説明書

I. 予算編成に当たって

企業団が昭和 53 年度から実施してきた第 5 期拡張事業は、平成 22 年度をもって完了し、企業団では拡張から維持更新への転換期を迎えている。

財政計画の最終年度である平成 23 年度は、企業債や水源開発事業割賦負担金の償還が高い水準で続き財政見通しは依然として厳しいが、安全な水の安定供給を持続していくため、施設の適切な維持管理、整備等は着実に実施していく必要がある。また、動力費、浄化薬品費、工事コストの変動、国庫補助金の一括交付金化への動き等にも対応していかなければならない。

さらに、人口減少や節水意識の浸透等による水需要の減少、利用者の水道水の安心・安定への関心の高まりもあり、一層の経営効率化の推進が求められている。

このように、厳しい財政状況が続くことが予想される中で、「水道用水供給ビジョン」に基づくアクションプラン（平成 21 年 10 月策定）の推進を図りながら、安全な水の安定供給を継続していく必要がある。

<平成 22 年度の収支見込み>

平成 22 年度における損益収支については、減価償却費及び支払利息等が高い水準で推移し、滋賀県造林公社に対する貸付金の処理（特別損失約 5 億 1 千万円）もあり、約 14 億 6 千万円の純損失が発生し、平成 22 年度末の累積欠損金は約 155 億 6 千万円となる見込みである。これは財政計画と比較すると約 2 億 9 千万円の好転となる。

一方、資金残額の状況については、平成 22 年度末時点において、約 33 億 4 千万円（前年度比約△3 億円）となる見通しである。財政計画では同年度末における資金残額を約 31 億 4 千万円と予定しており、比較すると約 2 億円好転する見込みである。

<今後の財政見通し>

平成 12 年度の第 5 期拡張事業の概成により資本費が急増して以来、企業団の財政は非常に厳しい状況が続いており、この状況は、琵琶湖開発事業割賦負担金の元利償還が終了する平成 26 年度までは継続する見込みである。平成 23 年度は、丹生ダム建設事業からの撤退に伴う将来の利息負担軽減のため、新たな割賦負担を開始することとし、当年度予算に特別損失を計上しているが、こうした中でも施設の更新等については、着実に進めていかなければならない。

また、近年の厳しい社会・経済環境に伴い、国や構成 4 市の財政についても今後ますます厳しい状況になることが懸念されるなかで、今後も資金状況を注視しながら企業団の使命である「安心できる水の安定供給を維持」するために、経費の節減を始めとする一層の経営努力と経営環境の変化への対応を図っていく必要がある。

Ⅱ. 予算編成の基本方針及び主要施策

「水道用水供給ビジョン」及び「水道用水供給ビジョンに基づくアクションプラン」に掲げた目標実現に向けての施策の具体化を図るとともに、安全な水の安定供給の持続を実現していくため、以下の主要施策を推進する。

(1) 安心・・・安全で良質な水の供給

阪神水道品質保証プログラム（HANSHIN WATER Quality Assurance Program：HW-QAP）の運用により、品質管理、品質確認、品質向上にかかる取り組みを継続する。また、水源水質保全活動を推進するとともに、水質監視・検査体制の連携を目指す。

(主要施策)

- 阪神水道品質保証プログラムの運用
 - ・品質管理：水安全計画管理対応マニュアルの検証、発展
 - ・品質確認：水質検査計画の検証、発展
 - ・品質向上：浄水技術の研究開発の継続、発展
- 淀川水質協議会等への参画を通じた水源水質保全活動の継続
- 水質検査共同化の継続

(2) 安定・・・安定供給の確保

厳しい財政状況ではあるが、施設の適切な維持管理を継続するとともに、老朽管路及び経年化施設の整備を着実に実施する。

また、今後の施設整備については、現在策定中の水道用水供給ビジョンに基づくアクションプラン（詳細計画）の一つである施設整備計画を念頭に、効率的・効果的に進めていく。

さらに、危機管理体制の強化として、これまで整備してきた様々なマニュアルについて体系化を図り、包括運用する危機対応プログラムの運用を開始するとともに、バックアップ機能強化に関する施策を実施する。

(主要施策と工事費)

- 老朽管更新工事の継続
 - ・大道導水管更新工事（406,812千円）
 - ・配水管更新工事（331,676千円）
- 甲東配水施設整備工事の継続（348,600千円）
- 猪名川浄水場施設整備の設計（52,500千円）
- バックアップ機能強化等の施策（15,362千円（委託費含む。））

(3) 持続・・・経営基盤の強化

財政計画（平成20～23年度）で掲げた経営改善計画を着実に実施し、経営改善に努める。

財政運営の当面の課題である琵琶湖開発事業割賦負担金の一部繰上償還については、保有資金の状況等によっては財源措置も検討しながら、将来の財政負担軽減を図るため継続実施する。

また、平成 22 年度から実施する公的資金補償金免除繰上償還について、支払利息の軽減を図るため継続実施するほか、丹生ダム建設事業に係る将来の利息負担軽減のため割賦負担を開始する。

(主要施策)

- 経営改善計画や業務改善等の実施
- 琵琶湖開発事業割賦負担金の一部繰上償還
- 高金利債の補償金免除繰上償還
- 丹生ダムに係る割賦負担の開始
- 保有地に係る有効活用の継続実施

(4) 環境・・・環境、エネルギー対策

環境問題に関する近年の社会情勢に鑑み、脆弱施設の更新や雷害瞬停などのリスク対策を優先しつつ使用電力量の抑制など、地球環境負荷の低減に向けた取組みを実施する。

(主要施策)

- 使用電力量の抑制などCO₂削減に向けた取組みの推進
 - ・ポンプ運転制御システムによる電力使用量の調査検討
 - ・回転数制御型ポンプの採用
- 浄水発生物の 100%再資源化の継続
- 環境会計の策定及び公表

Ⅲ. 予算の概要

(1) 業務の予定量

(単位 m³)

給水市名	1日平均給水量	年間総給水量
神戸市	457,367	167,396,322
尼崎市	170,537	62,416,542
西宮市	131,953	48,294,798
芦屋市	29,745	10,886,670
計	789,602	288,994,332

(2) 収益的収支の予定額

(単位 千円)

科目	当年度予定額	前年度予定額	比較(△減)
水道事業収益	19,306,486	19,312,294	△ 5,808
営業収益	18,834,013	18,753,219	80,794
営業外収益	472,472	559,074	△ 86,602
特別利益	1	1	0
水道事業費用	22,295,920	20,077,531	2,218,389
営業費用	16,061,313	15,943,804	117,509
営業外費用	3,528,407	4,128,724	△ 600,317
特別損失	2,701,200	3	2,701,197
予備費	5,000	5,000	0

(3) 資本的収支の予定額

(単位 千円)

科目	当年度予定額	前年度予定額	比較(△減)
資本的収入	5,682,043	2,785,822	2,896,221
企業債	3,776,000	906,000	2,870,000
出資金	1,585,040	1,557,581	27,459
国庫補助金	55,230	178,097	△ 122,867
固定資産売却代金	1	1	0
工事負担金	262,271	140,152	122,119
基金収入	3,500	3,989	△ 489
長期貸付金返還金	0	1	△ 1
その他資本収入	1	1	0
資本的支出	14,141,245	11,115,923	3,025,322
建設改良費	1,984,784	1,945,913	38,871
企業債償還金	8,629,156	5,377,716	3,251,440
投資	3,500	3,989	△ 489
水利負担金	3,494,913	3,766,261	△ 271,348
国庫補助金返還金	28,892	22,044	6,848

(4) 損益・資金収支の予定額

○当年度予定純損益	△ 3,171,970 千円
○当年度末予定累積損益	△ 18,732,163 千円
○当年度予定資金過不足額	23,312 千円
○当年度末予定資金残額	3,363,529 千円

(5) 新規債務負担行為

事 項	期 間	限度額
取水場運転管理業務委託 (平成24年3月～)	平成23年度から 平成27年度まで	435,530 千円
浄水場運転管理業務委託 (平成24年1月～)	平成23年度から 平成27年度まで	521,313 千円
丹生ダム建設事業割賦負担金	平成23年度から 平成52年度まで	3,610,105 千円

IV. 予算の明細

収益的收入及び支出
(税込み)

科目	前年度予算額	財政計画	予算案	対前年度比較	対財政計画比較
				増減額	増減額
	千円	千円	千円	千円	千円
水道事業収益	19,312,294	19,273,255	19,306,486	△ 5,808	33,231
営業収益	18,753,219	18,804,559	18,834,013	80,794	29,454
分賦金	18,750,022	18,801,390	18,801,390	51,368	0
受託工事収益	0	0	22,285	22,285	22,285
その他の営業収益	3,197	3,169	10,338	7,141	7,169
営業外収益	559,074	468,695	472,472	△ 86,602	3,777
受取利息	7,466	11,931	4,008	△ 3,458	△ 7,923
補助金	395,822	308,725	308,986	△ 86,836	261
雑収益	155,786	148,039	159,478	3,692	11,439
特別利益	1	1	1	0	0
固定資産売却益	1	1	1	0	0
	千円	千円	千円	千円	千円
水道事業費用	20,077,531	20,360,099	22,295,920	2,218,389	1,935,821
営業費用	15,943,804	16,510,490	16,061,313	117,509	△ 449,177
職員給与費	2,236,034	2,283,656	2,234,064	△ 1,970	△ 49,592
浄化費	694,655	592,776	742,188	47,533	149,412
動力費	2,104,171	2,111,765	2,104,911	740	△ 6,854
修繕費	1,027,775	1,517,086	1,089,014	61,239	△ 428,072
委託費	308,777	257,756	315,159	6,382	57,403
受託工事費	0	0	22,285	22,285	22,285
物件費	99,153	102,552	100,004	851	△ 2,548
諸費	711,789	744,741	682,940	△ 28,849	△ 61,801
減価償却費	8,722,614	8,782,268	8,689,059	△ 33,555	△ 93,209
資産減耗費	38,836	117,890	81,689	42,853	△ 36,201
営業外費用	4,128,724	3,844,606	3,528,407	△ 600,317	△ 316,199
支払利息及び企業債取扱諸費	3,650,882	3,401,944	3,044,808	△ 606,074	△ 357,136
消費税及び地方消費税	475,729	436,594	481,981	6,252	45,387
雑支出	2,113	6,068	1,618	△ 495	△ 4,450
特別損失	3	3	2,701,200	2,701,197	2,701,197
固定資産売却損	1	1	1	0	0
固定資産除却損失	1	1	1	0	0
臨時損失	1	1	2,701,198	2,701,197	2,701,197
予備費	5,000	5,000	5,000	0	0
収支差引額	△ 765,237	△ 1,086,844	△ 2,989,434	△ 2,224,197	△ 1,902,590

資本的收入及び支出
(税込み)

科目	前年度予算額 千円	財政計画 千円	予算案 千円	対前年度比較	対財政計画比較
				増減額 千円	増減額 千円
資本的收入	2,785,822	2,870,743	5,682,043	2,896,221	2,811,300
企業債	906,000	1,282,000	3,776,000	2,870,000	2,494,000
出資金	1,557,581	1,585,040	1,585,040	27,459	0
国庫補助金	178,097	0	55,230	△ 122,867	55,230
固定資産売却代金	1	1	1	0	0
基金収入	3,989	3,700	3,500	△ 489	△ 200
工事負担金	140,152	0	262,271	122,119	262,271
長期貸付金返還金	1	1	0	△ 1	△ 1
その他資本収入	1	1	1	0	0
資本的支出	11,115,923	11,331,799	14,141,245	3,025,322	2,809,446
水道改良費(起債・負担金改良)	1,352,607	1,378,306	1,207,076	△ 145,531	△ 171,230
水道改良費(自己資金改良)	593,306	917,945	777,708	184,402	△ 140,237
企業債償還金	5,377,716	5,514,661	8,629,156	3,251,440	3,114,495
投資	3,989	3,700	3,500	△ 489	△ 200
水利負担金	3,766,261	3,517,187	3,494,913	△ 271,348	△ 22,274
国庫補助金返還金	22,044	0	28,892	6,848	28,892
資本的収支差引額(不足額)	△ 8,330,101	△ 8,461,056	△ 8,459,202	△ 129,101	1,854
補てん財源	11,631,621	10,958,268	11,822,731		
当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額	188,994	213,046	182,536		
過年度分損益勘定留保資金	3,636,193	3,144,951	3,340,217		
当年度分損益勘定留保資金	8,760,665	8,900,161	11,471,948		
減価償却費	8,722,614	8,782,268	8,689,059		
資産減耗費	38,048	117,890	81,689		
不用品売却原価	1	1	1		
発生品組替益	△ 1	△ 1	△ 1		
特別損失	3	3	2,701,200		
利益剰余金又は当年度純損失(△)	△ 954,231	△ 1,299,890	△ 3,171,970		
前年度末資金残額	3,636,193	3,144,951	3,340,217		
当年度資金過不足額(△)	△ 295,976	△ 647,739	23,312		
当年度末資金残額	3,340,217	2,497,212	3,363,529		

上段=直近補正額
下段=当初予算額

V. 建設改良費説明書

(1) 水道改良費

(単位 千円)

科 目	金 額	施 工 区 分
原 水 施 設 費	557,285	
設 備 改 良 費	553,889	取導水管整備事業 507,690 大道導水管更新 浄水管理事務所設備改良 587 大道取水場導水計装設備取替 計測設備改良 45,612 大道3期導水流量計取替
機 械 器 具 購 入 費	3,396	作業用器具 3,396
浄 水 施 設 費	197,246	
設 備 改 良 費	136,951	浄水施設整備事業 53,000 猪名川浄水場施設整備 浄水管理事務所設備改良 83,951 猪名川浄水場直流電源装置取替 猪名川浄水場分析計取替
機 械 器 具 購 入 費	60,295	作業用器具 4,564 水質試験用器具 55,731
配 水 施 設 費	1,168,710	
設 備 改 良 費	1,162,641	配水施設整備事業 355,562 尼崎浄水場ポンプ室内バイパス管設置 甲東ポンプ場配水ポンプ取替 送配水管整備事業 646,386 東部配水管更新 中部配水管更新 東部配水管一部移設 送水センター設備改良 50,978 甲東ポンプ場無停電電源装置取替 送水センター残留塩素計取替 通信設備改良 109,715 無線系テレメータ装置取替
機 械 器 具 購 入 費	6,069	作業用器具 6,069
営 業 施 設 費	61,543	
設 備 改 良 費	49,487	営業設備改良 49,487 施設情報管理設備基本設計業務委託 本庁データログ装置取替 情報表示装置取替
機 械 器 具 購 入 費	12,056	事務用器具 12,056
合 計	1,984,784	